

## 求心点(国王)を抜き、民族と宗教の対立を煽った欧米のアジア植民地支配

日本人の歴史教科書 日本を読み解く15の視座<8> ジャーナリスト 高山正之

### 植民地支配の要は愚民化政策

国鉄リニアモーターカー生みの親として知られる京谷好泰氏が昔、[パキスタン](#)国営鉄道の招きで技術指導に行った。この国では脱線事故が頻繁に起きていた。

彼が車両の下に潜り込んで油まみれになって事故の原因を調べるのを[パキスタン](#)人技官たちは白手袋で見下ろしていた。植民地時代に上に立った[英国](#)人が見せたポーズだ。

彼はそんな一人に油まみれの部品をぽんと投げ渡した。白手袋を汚された高級技官は無然とするが、京谷は上に立つ者が率先して技術を学ばねば事故は防げないと教えた。

おかげで[パキスタン](#)から脱線事故が嘘のように消え、氏への感謝を込めた顕彰碑が今もラホール操車場に建っている。

帰国を前に技官の一人が英植民地時代に鉄道で働いていた父の思い出を語った。

あるとき[英国](#)人が機関車を指してお前らには高度なメカを作る能力がないと言った。

発奮した父は仲間を語らい、設計図を引いて蒸気機関車の十分の一モデルを作り、[英国](#)人の目の前で走らせた。彼らは褒めるところか冷たい目で見つめた。

間もなく父とその仲間は呼び出されて処刑された。

欧米のアジア植民地支配の要は愚民化政策だった。知恵は白人のもので植民地の民のものではなかった。だから教育には消極的だったし、[インド](#)支配では巧みに近代化の目覚めを奪うという高度のテクニックも使われた。

難しい話ではなく、ただ伝統と文化を重んじさせた。それが実は諸刃の剣だった。



日本の風景、絵馬(一月、明治神宮で)

### 宗教・言語の対立を利用

当時、[インド](#)はイスラム・ムガル帝国の支配下にあり、伝統のヒンズーは衰退気味だった。それを復興させた。それはイスラムとの宗教対立を深めた。[英国](#)はさらにイスラム系ベンガル人とヒンズー・ビハール人を同じ政治区分に据えて憎悪を深めさせたり、別の宗派シーク教徒を治安の要に据えたりして争いを誘った。

四億の民が宗教で分裂、対立して争っている限り、団結して宗主国に抵抗する事態は起きない。実際、チャーチルはこの宗教対立を「植民地[インド](#)を支えた最大の防壁だった」と自賛している。

ヒンズーの復活は同時にこの宗教が内包するカーストも甦らせた。李氏朝鮮は両班、中人、常人、奴婢の四つの身分を据えただけで深刻な停滞を招いたことを考えれば一口に一三〇といわれるカーストがどれほどインド社会を縛ってきたかは想像に難くない。

同じように地方言語も尊重させた結果、今の紙幣に一六種の言葉が書かれているようにインドは共通する母国語を持つ機会を完全に失ってしまった。

共通語がなければ国家意識も連帯感も希薄になる。宗教と言語。この二つの分断の結果、英国はたった二千人の文官(ICS)だけで四億インドを支配できた。

オランダが三世半支配したインドネシアも共通語を持たなかった。趣旨は同じだ。では共通語化は難しいのか。四国ほどの旧ポルトガル領東ティモールも七〇万島民に共通語がなかったという新聞報道があって、いかにも困難が伴うように思われる。

しかしインドネシアからオランダを追った日本はジャワ語を共通語に採用し、学校を作ったたった三年で定着させた。共通語が連帯意識と祖国愛を育むことは「反抗を知らなかった民」(英史家ルイス・アレン「日本軍が銃を置いた日」)が戦後、帰ってきた宗主国オランダと四年間も戦い抜いた事実によって見事に証明されている。

英国はインドに次いでビルマも支配した。その手際は植民地支配の集大成といわれる。ビルマは単一宗教単一民族の国だったが、英国はまず国王ティポーをインドに流して国民の求心点を抜いた。

次にインド人、華僑を送り込み、モン、カチンなど山岳民族をキリスト教化して軍、警察など治安機関に据えた。単一民族国家は一瞬にして多民族多宗教国家に変貌し、この国の主だったビルマ族は農奴にまで落とされた。

英国は紙も統制した。紙がないと教育もできない、意思伝達も難しい。愚民化にここまで熱意を燃やせることに驚かされる。



日本の風景「桜祭り」(四月東京中野の新井薬師で)

## 学校より刑務所が多いフランス植民地

フランスの仏領インドシナ支配もビルマ式に倣っている。まず咸宜帝(かんぎてい)をアルジェリアに流して国民の心の支えを抜き、次に華僑を大量に入れて代理支配させた。

もともと英国の阿片貿易を羨んでいたからすぐ阿片専売公社レジ・オピオムを設立。後にハーグ条約で阿片売買が禁止されたが、仏印は除外して販売を続けた。

仏印にはホンゲイの良質炭があった。バンメットコーヒーの強制栽培も収益を上げたが、最大の収入源は徴税だった。人頭税、葬式税、結婚税など思いつく限りの税が課せられ、滞納すれば即刑務所行きだった。そのため「学校の数より多くの刑務所が建てられた」と仏女性記者A・ビオリスの報告書にある。

彼女は阿漕(あごぎ)の象徴に「ニョクマム(魚醤・ぎょしょう)のビン法」を挙げる。魚醤にはすでに塩税などがかけられていたが、貯蔵には「衛生的な仏製蓋つきのビンの使用」を義務化し、ピンは法外な値で販売された。

戦後、ドゴールは「栄光のフランスの復活のため」に仏印の継続領有を主張し、ベトナムの独立戦争が始まるが、植民地とは際限ない収奪が可能な奴隷農場という彼らの意識がよく表われている。

ちなみにフランス人の手先になってベトナムを支配した華僑は南北ベトナムの統一の後によく追放された。いわゆるボート・ピープルがそれになる。

米国のフィリピン植民地化は経済的搾取を基本とする欧州諸国とは違ってアジア進出の足掛かりという戦略的政治的意図からだった。このとき米国は植民地化を嫌う民族派アギナルドの軍を徹底的に叩いた。

彼の故郷で抵抗の拠点だったバタンガスは焼き払われ数万人が餓死した。米兵が殺された報復にレイテ、サマール両島の住民は皆殺しにされた。捕虜には水責め拷問が行われたと米上院公聴会での証言がある。

インドのセポイの反乱で英国は捕虜を束にして大砲の砲口の前に吊るして吹き飛ばして見せた。白人に逆らえば残忍な報復があることを植民地の民に刷り込んだ。

米国のフィリピン制圧で見せた残忍さも趣旨は同じ。恐怖で抑え込む植民地統治法の一つだ。



日本の風景、祭り(五月、秋葉原の神田祭)

## 日露戦争で覚醒したアジア

そんなアジア諸国の民に大きな衝撃を与えたのが日露戦争だった、とヤンゴン大のタツ・タン教授はいう。

同じセリフをホーチミン市でポー・グエン・ザップからじかに聞いた。「先の戦争はそのダメ押しだった」とベトナム戦争を戦った老将軍は言う。植民地の民は神を気づった白人が青ざめて逃げ惑うのを目撃した、と。

コーデル・ハルは「日本をアジア解放に殉じた戦士にさせてはならない」とルーズベルトに忠告した。ルーズベルトは頑張ったが、それでもアジアの民は恐れを克服して独立していった。

// //

・いつもながら勉強になりますね。さすがは高山正之氏です。特にビルマのケース。もともと単一民族・単一宗教だった国があつという間に多民族・多宗教に変貌したというくだり。加えて国王を流して国民の求心点を抜く。

・なんだか明日の日本を見る思いです。日本から皇室がなくなり、多民族多宗教国家になったら本当に終わりだと思えます。この視点で見れば、皇室を貶め、移民を促進し、外国人参政権付与に熱心な勢力は、日本の許し難い敵でしょう。

・5月24日のエントリー「これが真実！大東亜戦争」では、「日本がアジアで残した功績」のフラッシュを紹介しましたが、この高山論文で、何故長期間欧米はアジアを支配出来たのかが理解できます。今は逆に日本が侵略されつつあります。非常に危険な状態ではないでしょうか。

### ●自由社刊 日本人の歴史教科書

カテゴリ: 政治も    フォルダ: 指定なし      

コメント(9)

タグ: 日本人の歴史教科書   自由社   欧米のアジア支配   高山正之   愚民化政策   単一民族   単一言語

コメント(9)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by 花うさぎさん

2009/05/30 02:57

・ニュース 国家基本問題研究所が緊急提言

1 日米韓三国主導で、全面制裁を実施し、北朝鮮に対するモノ、カネ、ヒトの流れを完全に断つ。

まず、我が国が全面制裁を早急に実施しなければならない。特に、在日朝鮮人の北朝鮮渡航を原則禁止とし、輸出と送金の全面禁止も直ちに実行しなければならない。その上で、米韓両国に同調を求める。

米国は、我々が一貫して提言してきたように、テロ支援国再指定と金融制裁再発動を行うべきだ。

韓国に対して、開城工業団地閉鎖、対北貿易・投資・観光の全面中止、民間レベルの支援遮断などを行うとともに、韓国人拉致問題を国政の最優先課題とすることを求める。

2 中国は、前回の核実験を非難した国連安保理制裁決議1718号があるにもかかわらず北朝鮮へのエネルギー・食料支援を続け交易を増やし、北朝鮮の核開発を支えてきた。また、国連難民条約に違反して脱北者を強制送還し続けている。

日米韓三国は中国に国連決議を守り金正日テロ政権への支援を止めよと、団結して迫らなければならない。中国が国連決議違反を続けるならば、北朝鮮の資金を扱う中国の金融機関への制裁を行うべきだ。

3 北朝鮮はイラン、シリアなどに核やミサイル技術を提供し、外貨を得ている。国連安保理はこの流れを断つために船舶と航空機に対する臨検の実施を決議に明記すべきだ。

それが不十分な表現になった場合でも国際社会はPSI (大量破壊兵器拡散防止構想)の枠組みで臨検を徹底的に実施すべきだ。我が国は早急に関連法規を整備して、臨検に積極的に参加する。

4 北朝鮮に対する抑止力を構築するために、集団的自衛権に関する政府解釈を修正し、非核三原則を見直す。ミサイル迎撃能力整備と共に、敵基地攻撃能力の確保に踏み出す。

詳しくは <http://jinf.jp/suggestion/archives/1001>



Commented by yuuitirouさん

2009/05/30 06:31

日本を売りたいマスコミと民主党を潰さないとそうなりますね



Commented by 花うさぎさん

2009/05/30 09:09

To yuuitirouさん おはようございます。

>日本を売りたいマスコミと民主党を潰さないとそうなりますね

はい、一人でも多くの人に気がついて欲しいのですが。



Commented by しちちようさん

2009/05/30 18:43

支那が昔からやって来た事ですね。

支那の場合、自国民が対象です。

日本もマスゴミがしています。

子供頃「テレビばかり視ているとバカになる」と言われました。

本当でした。

でも、教育現場でも愚民育生に力を注いだ結果が「モンスターペアレンツ」を産み出し、日狂組は強力なシッペ返しを喰らっています。

道徳教育は大切ですね。

日本が日本らしさを取り戻すには、後20年以上かかりそうです。

前提として、民主党崩壊と支那共産党崩壊が必要です。

と、謂うことは「日本らしさを取り戻す」のに、敗戦から100年はかかるかもしれない。  
先帝陛下の予測は正しかったのですね。



Commented by **その鯛さん**

2009/05/30 19:38

日本もまずやられたのは愚民化でしたねえ。

僅か半世紀で二千年以上の歴史を持つ、シャーマニズムの国もすっかり紅い思想で染まり牙を抜かれ愚民化してしまいましたね。

かつて精強だった**チベット**は宗教による教化で完全に牙を抜き去ってから滅ぼして、今は愚民化と浄化の最中。

日本もそのプロセスにあると考えると、先恐ろしいです。

しかし、仰る欧米の植民地政策のおかげで、中東もアフリカも、アジアだけは日本が辛うじてマシな形に出来ましたが、未だ問題山積です。

結局、今ある中東問題も全てイギリスの蒔いた種ですからね。彼ら血を流して贖う義務があると思いますよ。それに日本はつきあう必要は無い。



Commented by **marvelousnipponさん**

2009/05/30 20:06

素晴らしい記事でした。ありがとうございます。凄い国なのに喧嘩では負ける。大した国ではないのに表向き勝っているような国。日本は、この100年とてもかなわない、と思わせる力を少し見せる必要があります、**イチロー**君のように。



Commented by **花うさぎさん**

2009/05/31 01:04

To しゃちょうさん こんばんは。

>支那の場合、自国民が対象です。

なるほど。

>子供頃「テレビばかり視ているとバカになる」と言われました。

>本当でした。

これは私も両親に言われましたね。

>日本が日本らしさを取り戻すには、後20年以上かかりそうです。

>前提として、**民主党**崩壊と支那共産党崩壊が必要です。

もっと早く取り戻す手だてはないでしょうか？。

>先帝陛下の予測は正しかったのですね。

明治天皇も偉かったけど、先帝陛下も凄かったと言うことでしょう。



Commented by **花うさぎさん**

2009/05/31 01:08

To その鯛さん こんばんは。

>日本もまずやられたのは愚民化でしたねえ。

3S(セックス、スポーツ、スクリーン)政策とか、「政治談義はタブー」などという風潮を作り上げました。

>日本もそのプロセスにあると考えると、先恐ろしいです。

全く同意です。

>結局、今ある中東問題も全てイギリスの蒔いた種ですからね。彼ら血を流して贖う義務があると思いますよ。それに日本はつきあう必要は無い。

結局、かつての覇権国家の影響がいまだにぬぐい去ることが出来ないということだと思います。

Commented by **花うさぎさん**

2009/05/31 01:10

To marvelousnipponさん こんばんは。



>素晴らしい記事でした。ありがとうございます。

そうって頂けると嬉しいです。

>日本は、この100年とてもかなわない、と思わせる力を少し見せる必要があります、[イチロー](#)君のように。

本当ですね。あまりにも喧嘩に弱い国になりすぎました。